

友連

昨日はまたたかつた 着たぐい、すすむ
 と思つた ありこりて着たぐいありた
 今日は何もい 昔から三宮回湯といわれ
 たしお去年子ど付寒く印かつた
 此う正一年で寒い存して 年日と
 存と思つ

今日は何物も来ら

それを知友連へ予てりてもしよう

一人目、北海道の娘さんが来つたおれとのこと

それはいい、活かすんでいよ と書いた

活け天としよう

二人目、同年令のた 予て戦争をしら

きいありた 戦死したん水多せいお存して

知ら有り 予わりの戦死一人い存あり

だりた 二人の人はお二次大戦お存のた

三人目、パーキエソをわすらうてい

このぼろデニクでの会居お元氣に存して

いこ、ふかつた

昔いよしまに仙臺へ行くたを おれのか

った 又どこか飛^へ行きたいと言つて
いる

彼女も私も家中^のいふ 本當にどこかへ

行けたらいい呀

四人身 とでもええ氣を人

腸^が腹^がかよつてしやつた^と笑っているがう言ひ

日々大変だのに 元氣がよいのはいい

とろくろ^と方^と五^と崎^とはなつた

荷物^は多^い 今日^は何^もう^能運^ばない^が

手^が 手^のは^困ふ^と思^つた^が 取^違ひ^の所^か

と来た^らあか^らん

四人身 同上^の令^いつ^てあ^かま^をア^ッリ^ッ

話^が去^るに^うい^いと^思つ^てい^い

2621
3/25